新e-Rad　主な変更点一覧

新e-Rad　主な変更点一覧

	機能	対象	課題・問題となっていた点等	主な変更内容
1	応募様式の統一に伴う応募画面等の整理	研究者 研究機関 配分機関	e-Radの申請画面と「様式4_研究計画調書」に重複する項目等があり、研究者にとって申請の負担となっていた。	・各申請画面に「様式4_研究計画調書」の内容が反映されました。 ・「様式4_研究計画調書」の提出が不要となりました。
2	実績報告を配分機関が登録できるようにし、研究者等の二重入力の削減	研究者 研究機関 配分機関	配分機関の独自システムとe-Radを連携させて管理するためには、e-Radで採択時に発番される研究課題番号を独自システムのデータにも持たせる必要があり、現状、各配分機関担当者が手作業でe-Radの研究課題番号を登録しているものと思われる。人の手が介在することによる入力ミスで、次期e-Radのデータと独自システムのデータの紐づけができないレコードが出てくることが懸念される。	・配分機関側で会計実績、研究成果報告を次期e-Radへ一括インポートすることにより、研究者、研究機関側でe-Radへの会計実績、研究成果の登録の必要がなくなりました。 ・研究者がe-Radに登録した会計実績、研究成果をダウンロードすることで、各配分機関は独自システムへの連携を行うことができるようになりました。 ・会計計実績、研究成果の各種ファイル及び入力画面の項目を変更しました。

変更点一覧

項	機能	対象	課題・問題となっていた点等	主な変更内容
3	研究インテグリティ機能	研究者 研究機関 配分機関	研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性がある。	・研究者情報登録修正画面にて、研究費等の報告項目、兼業等の報告項目、契約状況の意思表示を登録できるようになりました。 ・研究費等の報告項目であるエフォートについては、入力値を検査できるようになりました。 ・応募情報登録修正画面にて、上記で登録された情報を表示することができるようになりました。 ・研究費等の報告項目であるエフォートについては、入力値を検査し、採択時に100%を超える研究者がいる場合は、応募申請の登録を抑止します。 ・応募を受理した配分機関において応募状況を確認する際、研究インテグリティに係る情報の登録がされていることを確認することができるようになりました。
4	画面遷移やレイアウト等の一部変更	研究者 研究機関 配分機関	・登録・修正した内容を確定する前に確認画面が表示されるが、画面数が多くなり保守性が低くなっている。 ・日本語と英語の言語毎および操作対象者毎に画面が分かれているため保守性が低くなっている。 ・類似機能が複数の画面に点在しており、保守性が低くなっている。	・各登録画面入力後の入力内容の確認画面を廃止し、確認ダイアログ等を表示するようにしました。 ・日本語と英語の言語毎および操作対象者毎に分かれていた画面を集約しました。 ・類似機能の画面を統一しました。

変更点個別概要

１．応募様式の統一に伴う応募画面等の整理

これまでの応募申請の運用では、e-Radのオンライン画面入力に加え、応募様式４の記入を必要としておりましたが、
新e-Radでは、応募様式４の記入負担軽減を目的に、e-Radのオンライン画面に応募様式４の記入項目を反映する対応を行いました。

記入項目の反映は、主に応募申請画面への対応となりましたが、
対応内容によっては、応募申請画面にとどまらず、公募～実績報告等の関連機能に対しても変更を行いました。

これら変更は、応募様式４の記入項目反映の対応により、
これまでのe-Radから画面レイアウトが変更となった応募申請画面、及び、公募～実績報告等の関連機能を示します。

操作方法等詳細については、各マニュアルをご参照ください。

変更点個別概要

１．応募様式の統一に伴う応募画面等の整理

主な変更点一覧（1/2）

No	変更点
1	【研究計画調書の応募・公募事業名項目追加】 システムからPDF形式で出力される研究計画調書について、「応募・公募事業名」が表示できるようになりました。
2	【研究課題名（英語表記）の要否選択追加】 英語表記の取り扱いについて、配分機関が公募作成画面で要否を指定できるようになりました。
3	【研究期間の要否選択追加】 配分機関側で年月日の記載を選択できるようになりました。
4	【研究代表者氏名の選択項目追加】 「氏名（戸籍名）のみ」「通称名（旧姓等）のみ」「氏名と通称名の併記」を研究者が選択できるようになりました。
5	【所属機関がない研究者の所属研究機関名称の変更】 所属がない場合に「個人登録」と表示されるようになりました。
6	【連携対象の所属研究機関】 登録された研究者情報と連携して、住所、TEL、FAX、E-mailを表示できるようになりました。 部局、職名が複数ある場合に、選択できるようになりました。
7	【経理事務担当者（氏名・連絡先）の入力項目追加】 配分機関が指定した場合に、経理事務担当者の記入欄を表示できるようになりました。
8	【研究分担者情報の表示】 研究分担者を検索し、選択した研究者情報を表示できるようになりました。
9	【直接経費、間接経費の入力欄】 直接経費は、e-Radシステム上で2階層を実現し、手入力できるようになりました。
10	【各年度別経費内訳の経費表の変更】 表示された経費表（3パターン）を用いて入力できるようになりました。

変更点個別概要

１．応募様式の統一に伴う応募画面等の整理
主な変更点一覧（２/2）

No	変更点
11	【年齢等の自動表示】 配分機関側で指定した基準日で年齢を自動計算し、表示もできるようになりました。
12	【学位情報の取り扱い】 複数の学位取得状況に対応することができるようになりました。
13	【研究目的及び研究概要のファイルアップロード】 研究目的の項目欄については、オンライン入力とファイルアップロードを選択できるようになりました。 また、それらを併用することも可能となりました。
14	【研究業績の変更】 研究業績の種別として、研究論文、学会発表、図書、知的財産権（産業財産権から名称変更）、配分機関の個別設定事項の5項目を選択できるようになりました。
15	【応募・受入等の状況・エフォート入力項目の変更】 ①「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」を手入力できるようになりました。 ②e-Rad管理外の課題のエフォートを表示できるようになりました。 ③これまでに受けた研究費とその成果について、表示期間を選択できるようになりました。 ④これまでに受けた研究費とその成果について、「研究代表者、研究分担者の別」が表示されるようになりました。 ⑤これまでに受けた研究費とその成果について、機関単位の応募も選択可能となりました。 ⑥「研究成果及び中間・事後評価結果」の登録可否を指定し、入力欄を追加できるようになりました。
16	【略歴情報の削除】 略歴情報を削除しました。
17	【複数の応募情報ファイルのアップロード】 複数の応募情報ファイルをアップロードできるようになりました。

変更点個別概要

２．実績報告を配分機関が登録できるようにし、研究者等の二重入力の削減

配分機関の中には、独自システムを運用されている機関が存在しており、
研究課題の情報や研究/会計実績の情報等を管理されています。
また、e-Radでも、公募～研究/会計実績の情報を管理しております。

本機能変更は、配分機関の独自システムとe-Radの両システム間のデータ連携を可能とする
CSVファイルのダウンロード機能及びアップロード機能を示します。

新e-Radでは、両システム間のデータ連携強化のために、主に以下2点の対応を行いました。

①会計実績ファイル及び研究成果ファイルの一括インポート処理を可能とする対応
　－独自システムで管理している研究/会計実績の情報を配分機関が一括登録できるよう対応しました

②採択課題情報、研究/会計実績情報のファイルレイアウト変更
　－上記ファイルについて連携に必要な項目を設計し、レイアウト変更を行いました

操作方法等詳細については、各マニュアルをご参照ください。

変更点個別概要

３．研究インテグリティに係る機能概要

●近年、研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されています。

　こうした中、令和３年１２月１７日付で「競争的研究費の適正な執行に関する指針」が改正され、下記のような情報の提出が必要となります。各研究者や所属組織の負担を低減するため、e-Radに研究インテグリティ機能を付加しました。

- ✓ 研究者による適切な情報開示、大学・研究機関等のマネジメント強化
- ✓ 全ての競争的研究費事業における、国外も含む外部からの支援や兼業等の情報の把握
- ✓ 所属機関に適切に報告している旨の誓約

操作方法等詳細については、各マニュアルをご参照ください。

変更点個別概要

3．研究インテグリティに係る機能概要

研究者情報登録／修正画面に新項目を追加

●「研究者情報登録／修正」画面の「所属研究機関」タブに研究費等の報告項目、兼業等の報告項目、契約状況の意思表示（① 入力の箇所）を登録（② クリックの箇所）することができます。



※画面は開発中のもので、通貨選択の追加等、一部変更になります。

①入力

現在のモジュールでは、機密保持契約締結時はエフォート入力不要ですが、機密保持契約締結時もエフォート入力は必要となります。

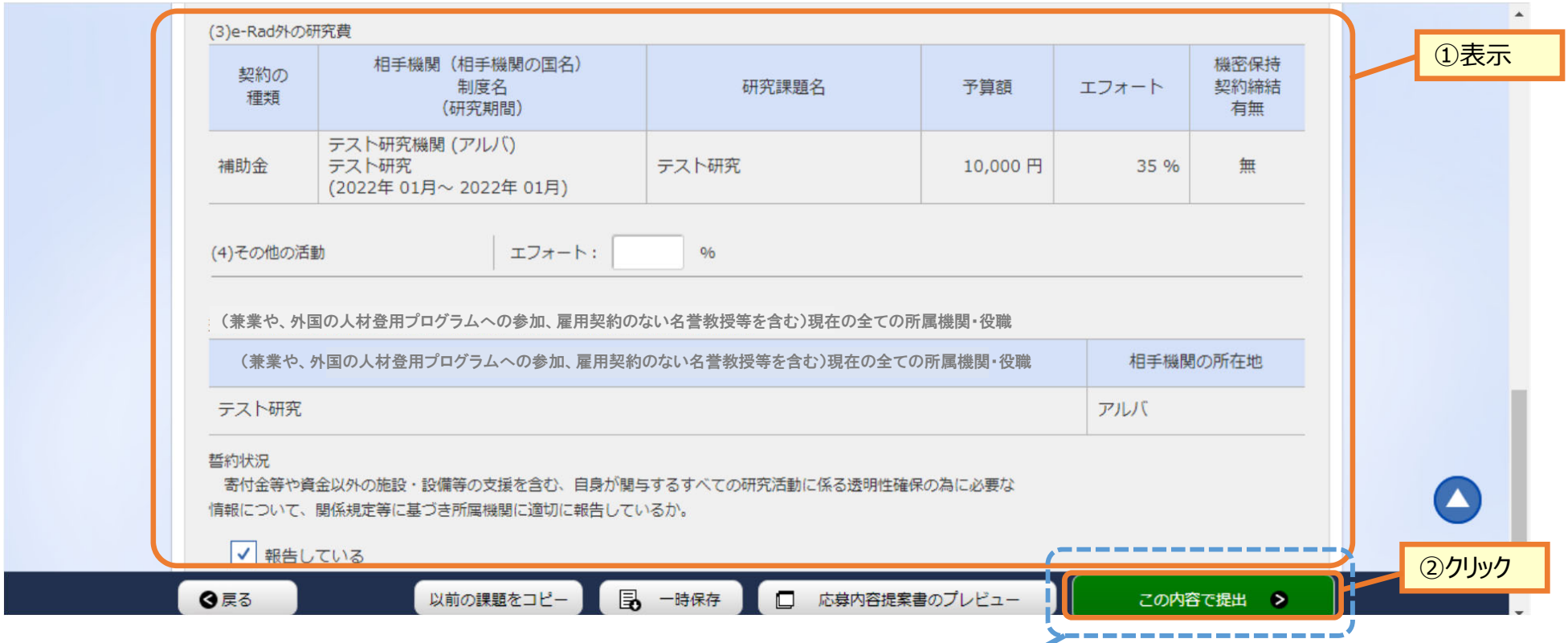
②クリック

変更点個別概要

3．研究インテグリティに係る機能概要
応募情報登録／修正画面に新項目を追加

●「研究者情報登録／修正」画面で登録した情報を「応募情報登録／修正」画面で表示することができます（① 表示の箇所）。

●研究費等の報告項目であるエフォートについては、入力値を検査し、100%を超える研究者がいる場合は、応募申請の登録時にアラート表示します（② クリックの箇所）。 ※画面は開発中のもので、文言等、一部変更になります。



現在のモジュールでは、エフォート合計が100%超過しているとエラーとなり登録できませんが、100%超過の場合もアラート表示で提出可能です。